

(編入学)

平成28年度 入学試験問題

小 論 文

(農学生命科学部 園芸農学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙（罫線が茶色のもの）1枚と下書き用紙（罫線が黒色のもの）1枚を別に配付してあるの
で確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題：図1は、日本における明治以降の米の需給と作付面積の推移を示したものです。また、図2は日本における1人1日当たりの主要食材別供給熱量の推移をあらわしたものです。図1、図2の内容をふまえて、以下の設問に回答してください。

1. 1970年代以降、日本では米余りが起きているといわれています。その背景について説明しなさい。(400字以内)
2. このような米余りへの対策としてどのようなことが行われてきたのか説明しなさい。またそこでの課題はなんですか。(400字以内)

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

図1 明治以降の米の需給と作付面積の推移
資料：加用信文「日本農業基礎統計」、
農林水産省「食料需給表」

図2 1人1日当たりの主要食材別供給熱量の推移
資料：1934～38年平均については、農林省「食料
需要に関する基礎統計」1975年より、1951年
以降は、農林水産省「食料需給表」より作成。

(出典：高橋正郎編著『食料経済』理工学社)